

東証スタンダード市場（証券コード 6848）

アナリスト・機関投資家向け 会社説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2022年7月19日

代表取締役社長 高橋俊夫

- 1. 会社概要**
- 2. 2021年度振り返り**
- 3. 中期経営計画**
- 4. 2022年度計画**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

- 1. 会社概要**
2. 2021年度振り返り
3. 中期経営計画
4. 2022年度計画

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに
地球環境保全と豊かで人にやさしい
社会環境の実現に貢献します。

概要

代表取締役社長： 高橋 俊夫

所在地： 東京都新宿区高田馬場一丁目

設立： 1944年9月

資本金： 18億4,248万1千円

従業員数： 連結558名 単独349名

事業所：
▶狭山市：狭山テクニカルセンター
（開発研究センター、
医療関連機器生産棟）
▶東大和市：東京エンジニアリング
センター

営業拠点： 国内10か所

連結子会社： 国内4社

略歴

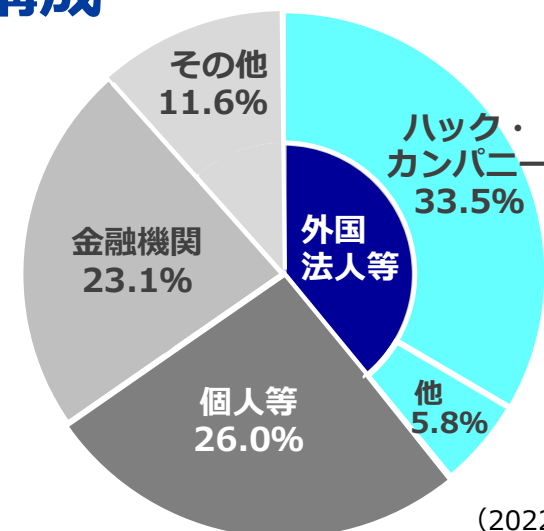
2000年 東亜電波工業と電気化学計器（DKK）
が合併し、東亜ディーケーケー 誕生

2005年 米国ハック・カンパニー（HACH）と
業務・資本提携

2013年 東証第一部指定銘柄

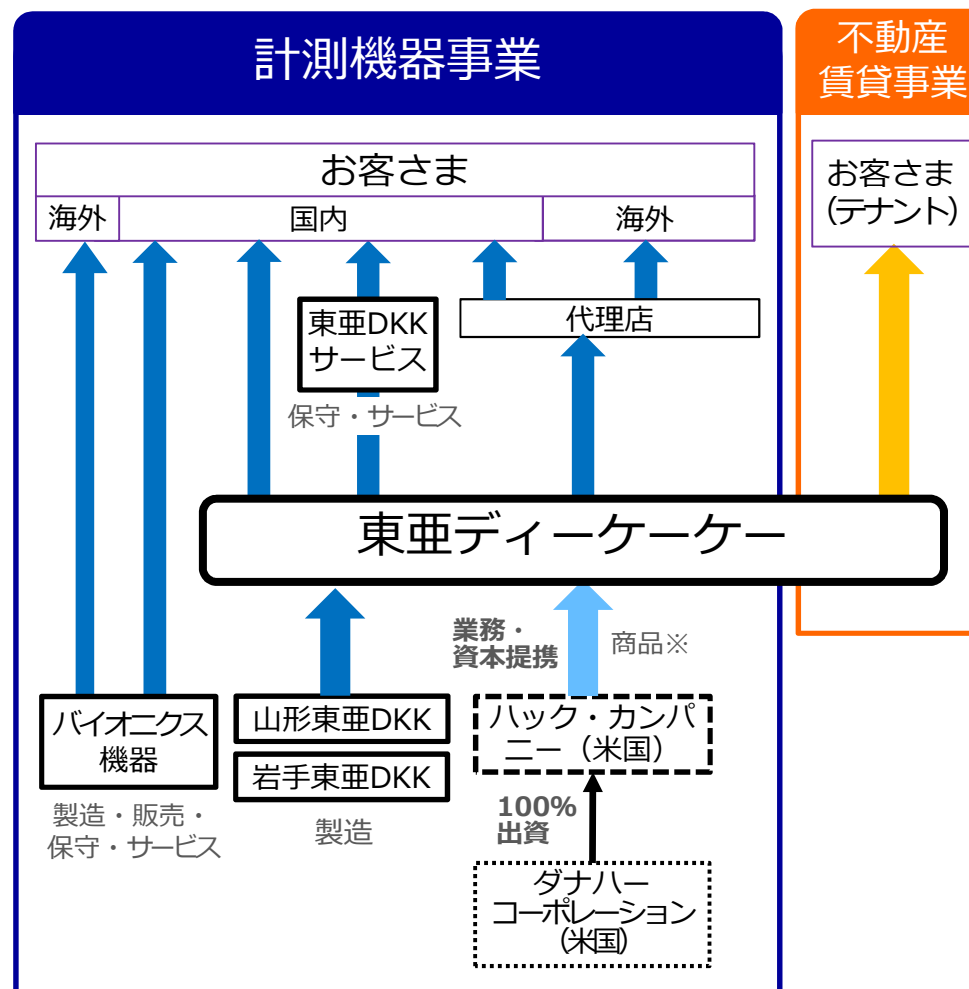
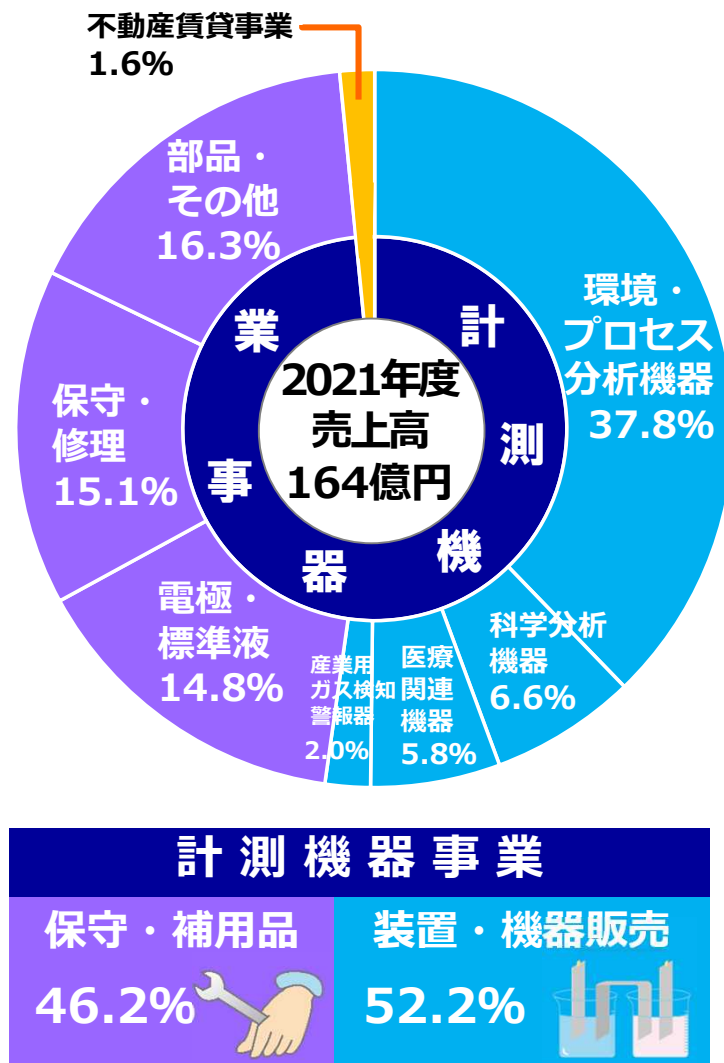
2014年 創立70周年

株主構成



（2022年3月末現在）

売上構成と事業系統



(注) 連結グループ会社のみ記載
 ※ 当社はハック・カンパニー社製品の国内総代理店

当社の強みと計測機器の用途分野



当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に展開
- 公的機関はじめ、幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制

水		大気	医療	ガス
環境・プロセス分析機器			医療関連機器	産業用ガス検知警報器
 水道水用水質自動測定装置	 pH計	 PM2.5測定装置 国内シェアNO.1	 透析用薬剤溶解装置	
 電気伝導率計	 油膜検知器	 大気SO ₂ SPM測定装置	 エンドキシン計	 ケミルミアルシン計
科学分析機器				
 ラボ用水質計	 ポータブル用水質計			

1. 会社概要
- 2. 2021年度振り返り**
3. 中期経営計画
4. 2022年度計画

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

2021年度決算サマリー



■売上高：増収

(国内) 官公需は例年並み。民需は回復傾向で受注は好調も売上は微減
(海外) 主に中国・韓国での販売が好調で増収

■利 益：原価率上昇も、増収・販管費減少により増益

☞単月黒字化151か月連続記録更新中（2009年9月から12年7か月）

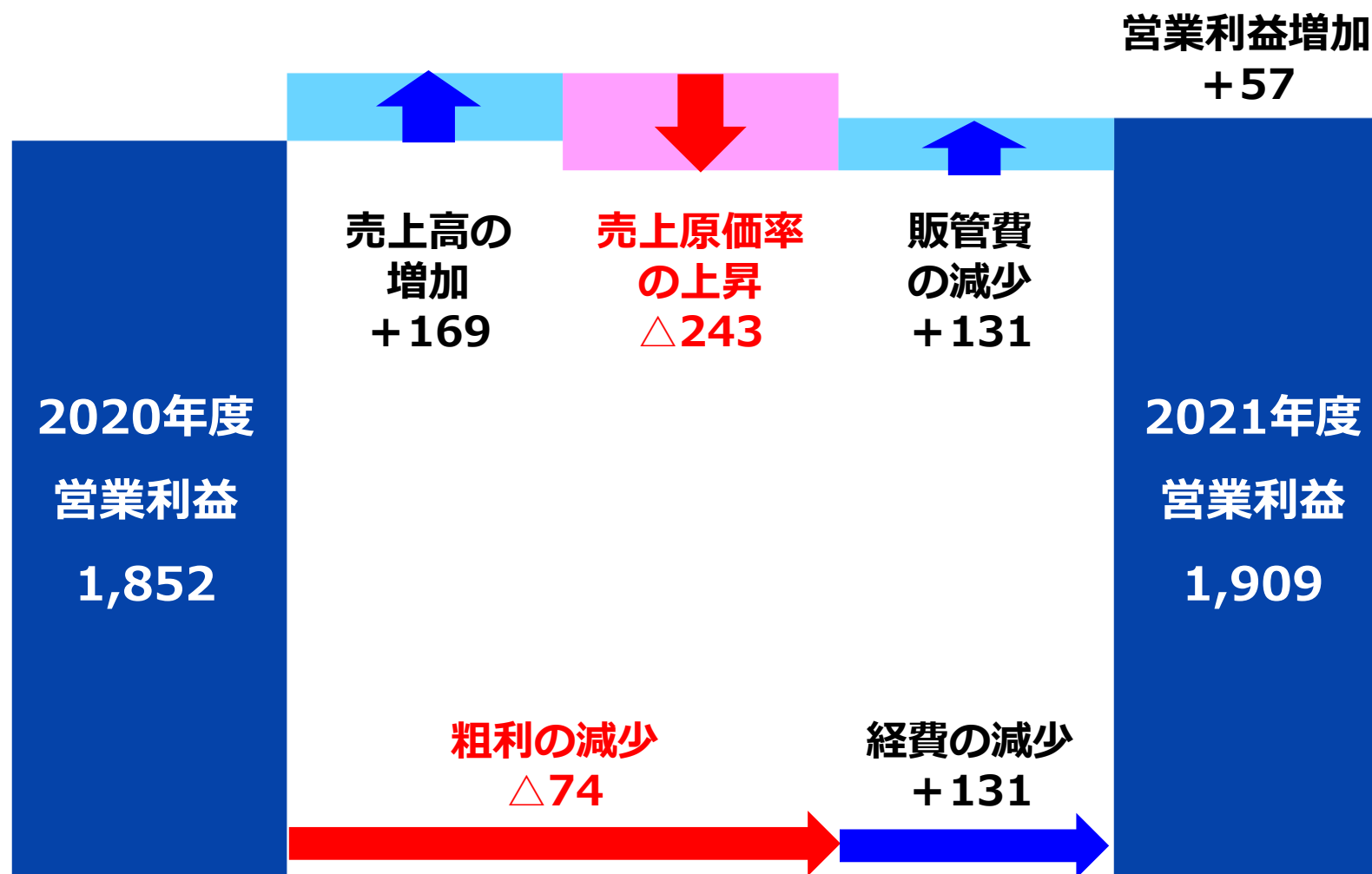
(単位:百万円)

	2020年度 実績	2021年度 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	15,988	16,424	435	+2.7%
営業利益 売上高比	1,852 11.6%	1,909 11.6%	57	+3.1%
経常利益 売上高比	1,907 11.9%	1,968 12.0%	61	+3.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,374 8.6%	1,347 8.2%	△27	△2.0%

営業利益増減分析（前期比）



（単位:百万円）

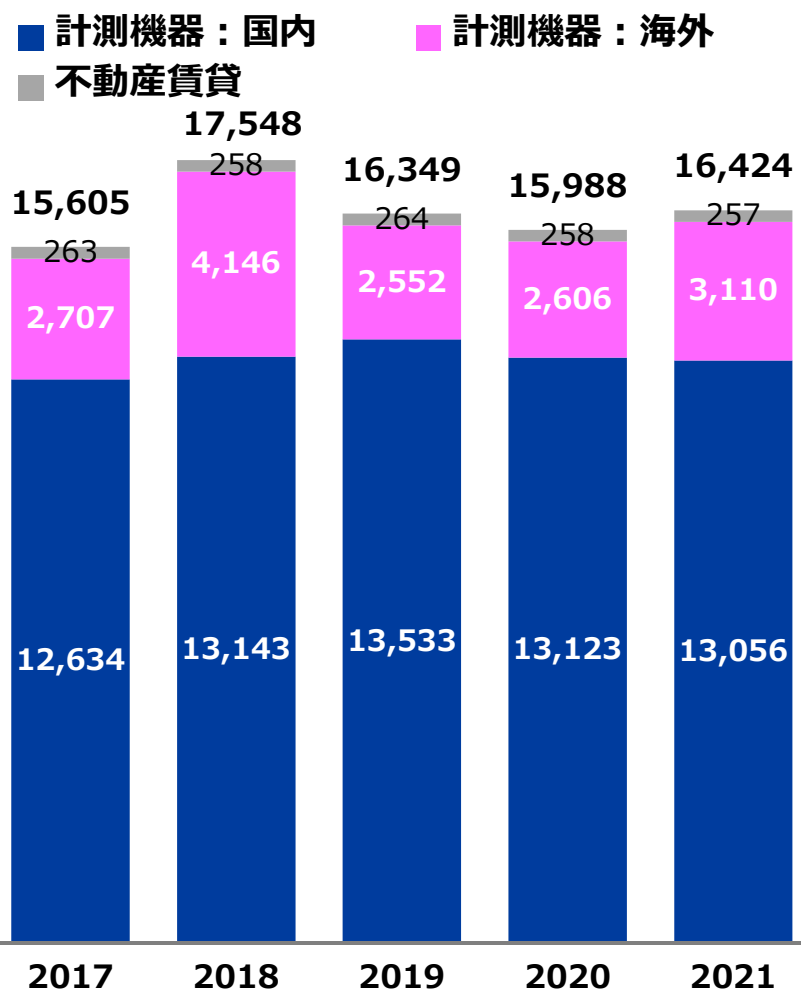


国別売上高推移

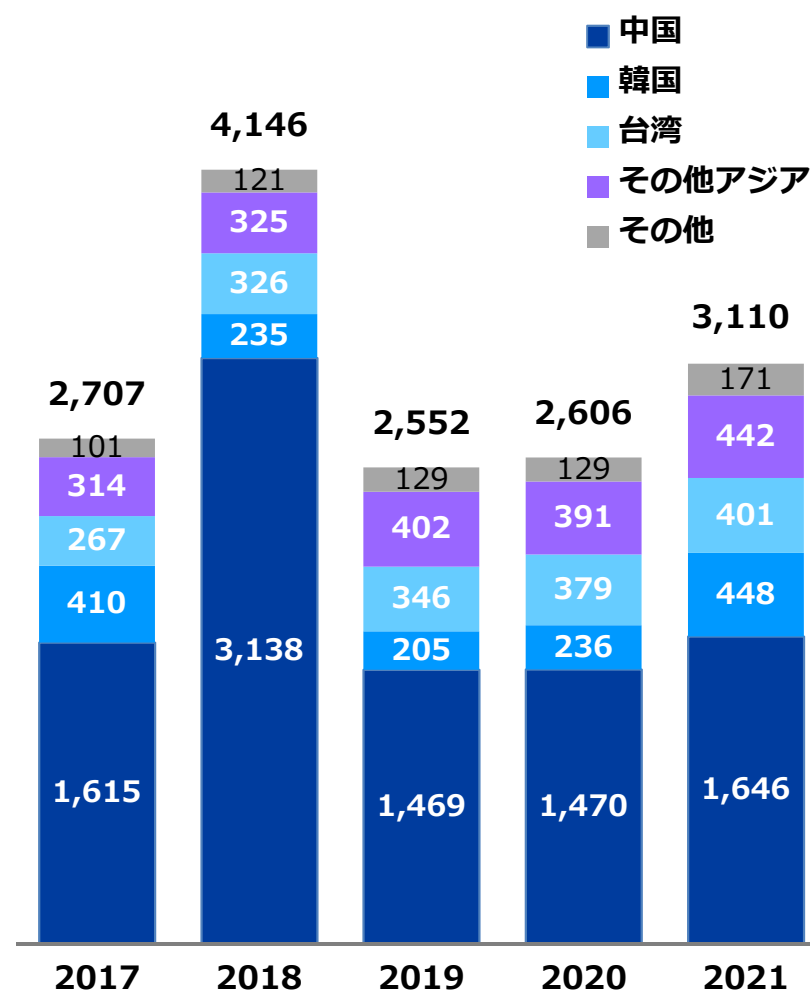


(単位:百万円)

国内外の売上高



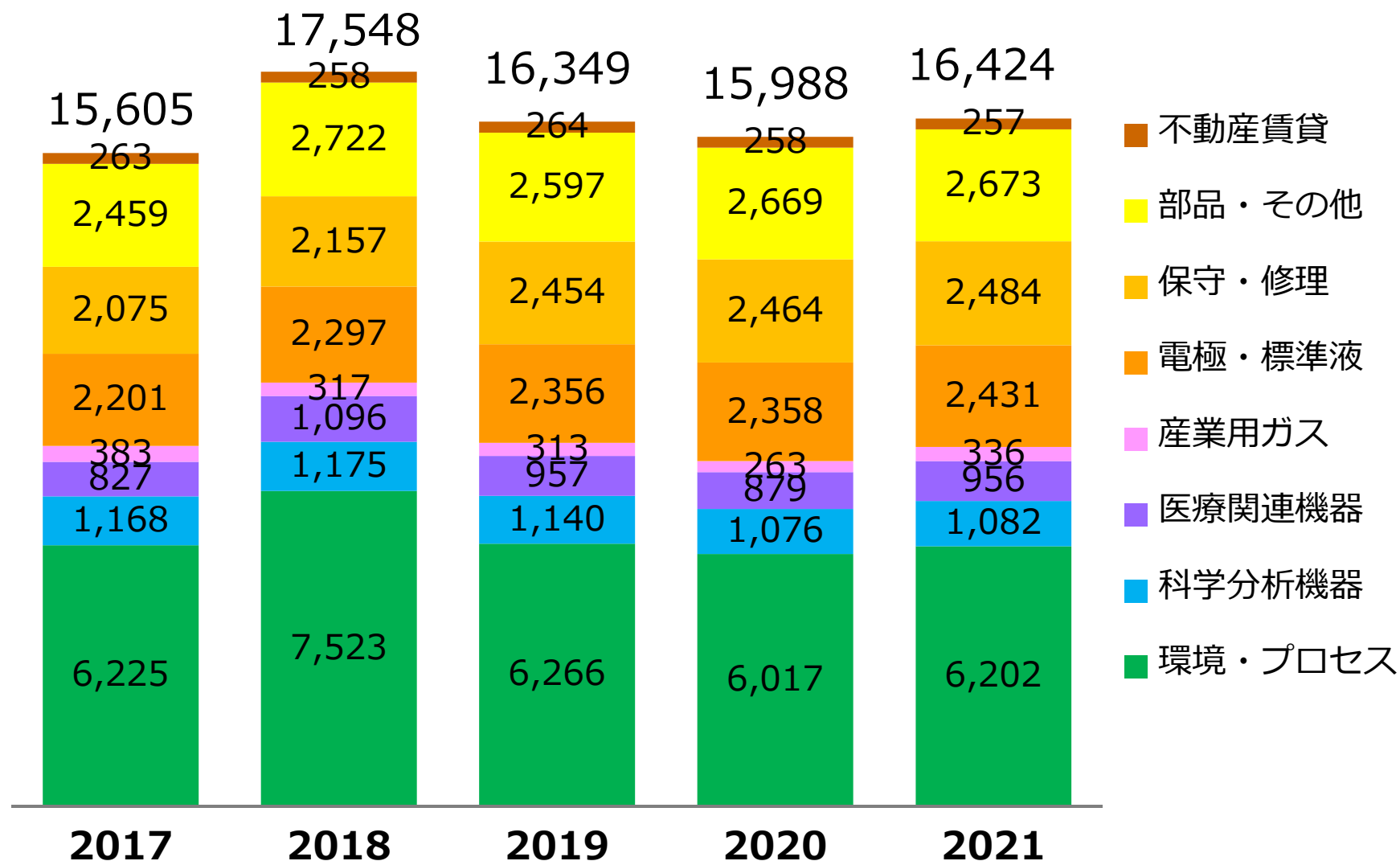
海外の国別売上高



分野別売上高構成推移

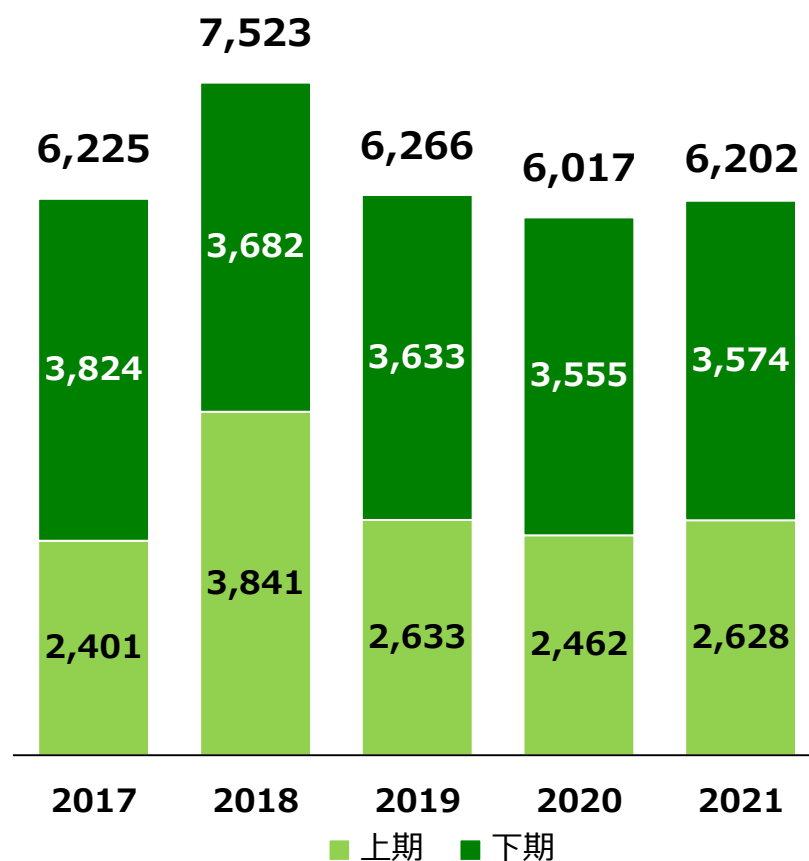


(単位:百万円)



環境・プロセス分析機器売上高

(単位:百万円)



■ 前期比 +3.1%
(2020年度 vs 2021年度)



- 国内：民間企業向け基本プロセス計測器を中心に受注は高水準も売上に至らずやや減収
- 海外：中国で環境用水質分析計、韓国で上水監視装置、台湾で半導体関連設備向け水質計の販売が好調で大幅増収

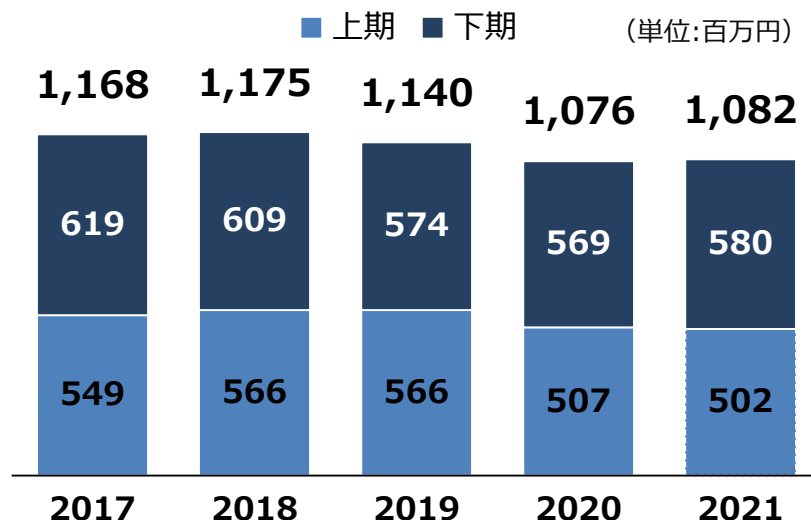


- 国内：売上は前期に届かなかったものの、シェアは確保
- 海外：インドがコロナ禍で低調も、受注は回復傾向

[主要分野] 科学分析機器・医療関連機器



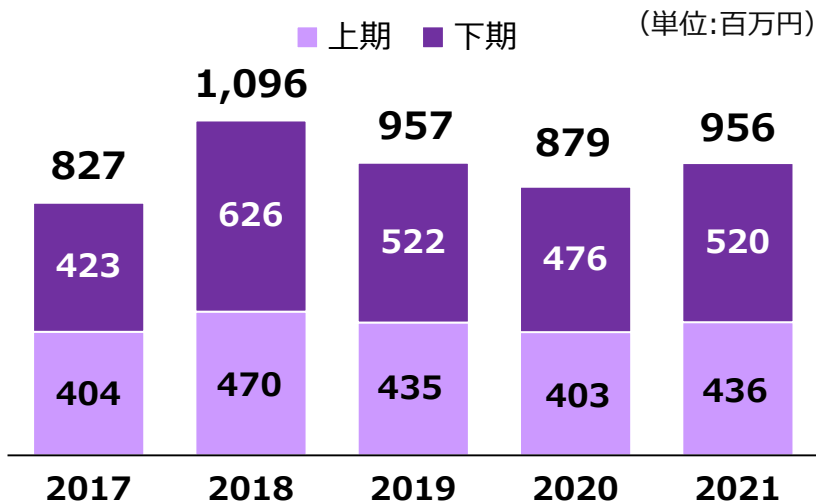
科学分析機器売上高



■ 前期比 +0.5%
(2020年度 vs 2021年度)

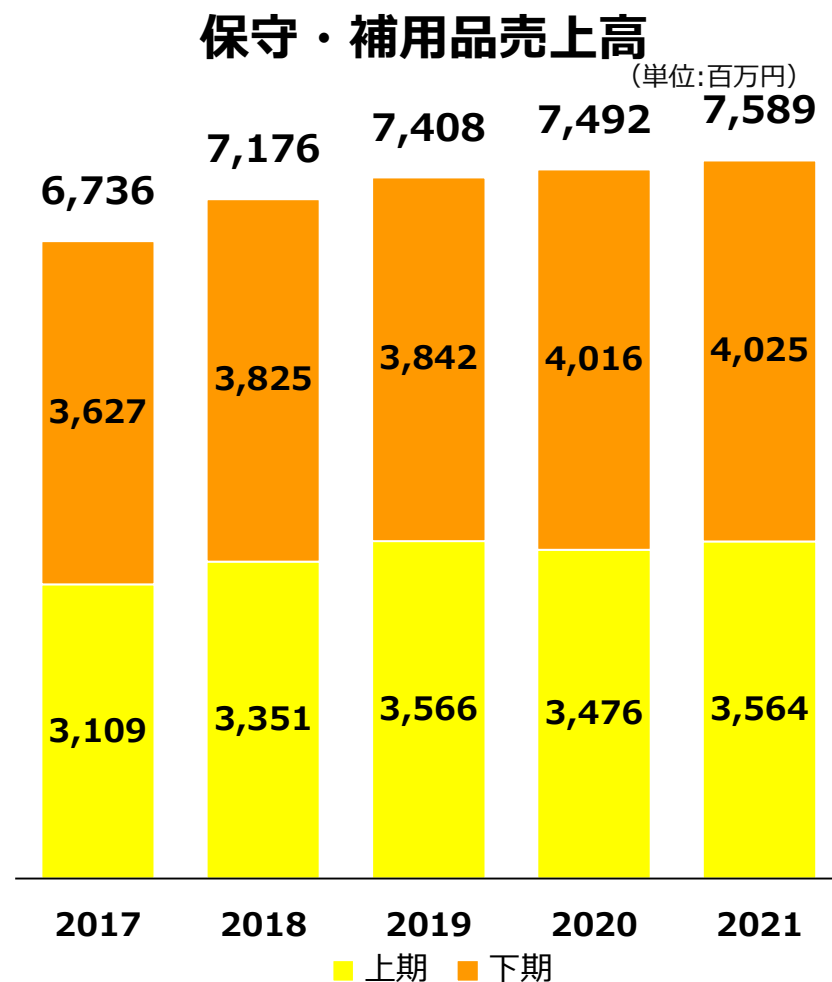
- 大学や研究機関からの引き合いが回復基調
- 受注は順調に増加中

医療関連機器売上高



■ 前期比 +8.8%
(2020年度 vs 2021年度)

- 病院の新規・買い替え需要が回復し増収
- ☞ 透析システムメーカーの海外展開を後押し



■ 電極・標準液

前期比 + 3.1%
(2020年度 vs 2021年度)

■ 保守・修理

前期比 + 0.8%
(2020年度 vs 2021年度)

■ 部品・その他

前期比 + 0.1%
(2020年度 vs 2021年度)

- コロナ禍においても設備稼働維持のための定期点検がほぼ計画通り行われ、保守・修理、部品は微増
- 全体では前期比1.3%増で、7期連続増収

1. 会社概要
2. 2021年度振り返り
- 3. 中期経営計画**
4. 2022年度計画

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

中期ビジョン

サステナブルな社会の実現に貢献する企業として、持続的成長と企業価値向上への取組みを通じて、5年後、10年後も、お客さま・株主さま・社員など多くのステークホルダーに支持される企業を目指す

大型投資



経営指標

（単位:百万円／％）

	2021年度 実績	2024年度 計画
売上高	16,424	18,850
海外売上高比率	18.9%	21.7%
営業利益	1,909	1,900

社会の潮流変化に即応した製品・サービスの開発・提供



中計要諦②お客さまに一番に選ばれる会社に TOA DKK

2

満足度の高い製品・サービスの提供を通じた
お客さまから一番に選ばれる会社の実現

開発、製造、販売、保守まで
担う強みを最大限に発揮



メンテナンスを省力化する
製品・サービスの提供

新製品の開発から量産化への
スピードアップ



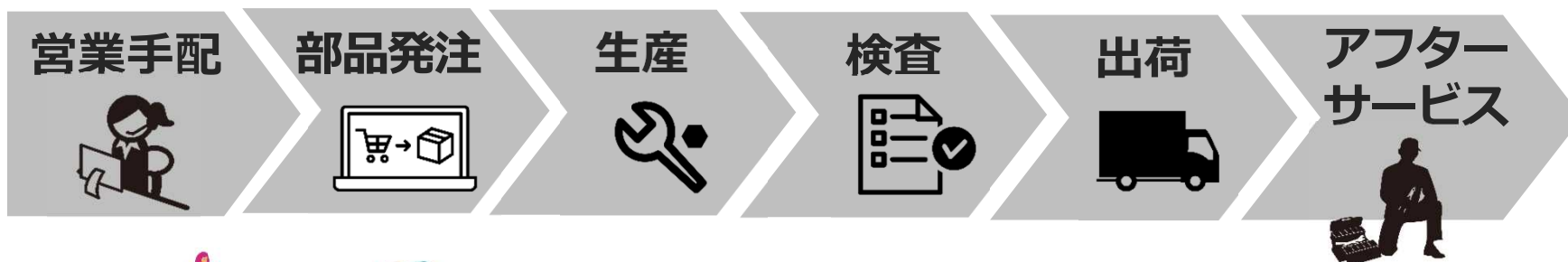
マザー工場機能を備えた
新生産棟（2024年2月竣工予定）



アジアを中心に更に広い地域のお客さまに満足を提供



4 高い成長実現に向けた経営基盤の整備と ブランド力の強化



**DX推進プロジェクト室
を新設**

業務フローの再構築で徹底した効率化



ESG経営への持続的取り組みと、 多様な人財が活躍・成長できる 企業風土の醸成

再エネ100宣言
RE Action



再エネ・創エネ



外部からの評価

エコバディス審査で
ブロンズ評価



- ☒ 環境
- ☒ 労働慣行と人権
- ☒ 倫理
- ☒ 持続可能な資材調達

1. 会社概要
2. 2021年度振り返り
3. 中期経営計画
- 4. 2022年度計画**

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。
本資料の金額は単位未満切捨てで表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。
比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

■売上高：部材調達難の影響に不透明感があるものの増収を計画

（国内）設備投資は回復基調が続くと想定し、主力製品の拡販および営業とサービスの緊密な連携によるアフタービジネスを強化

（海外）各国の経済回復が進み、アジア地域での環境保全関連及び半導体工場等での需要は引き続き堅調と想定し拡販

■利 益：経費増加により減益予想

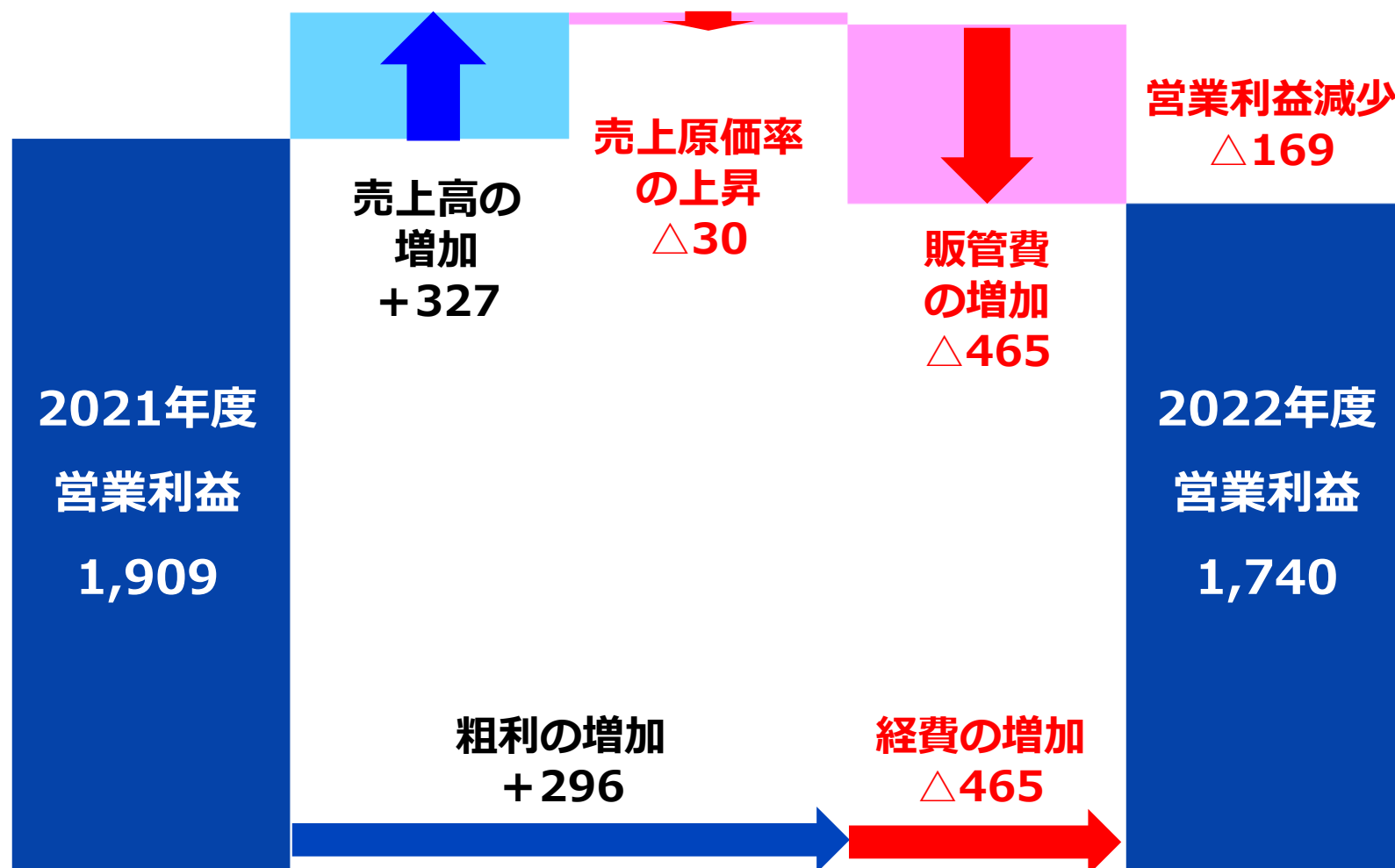
（単位：百万円）

	2021年度 実績	2022年度 計画	前期比増減	
			金額	率
売上高	16,424	17,300	875	+5.3%
営業利益 売上高比	1,909 11.6%	1,740 10.1%	△169	△8.9%
経常利益 売上高比	1,968 12.0%	1,800 10.4%	△168	△8.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,347 8.2%	1,240 7.2%	△107	△7.9%

営業利益増減分析（計画）



（単位:百万円）

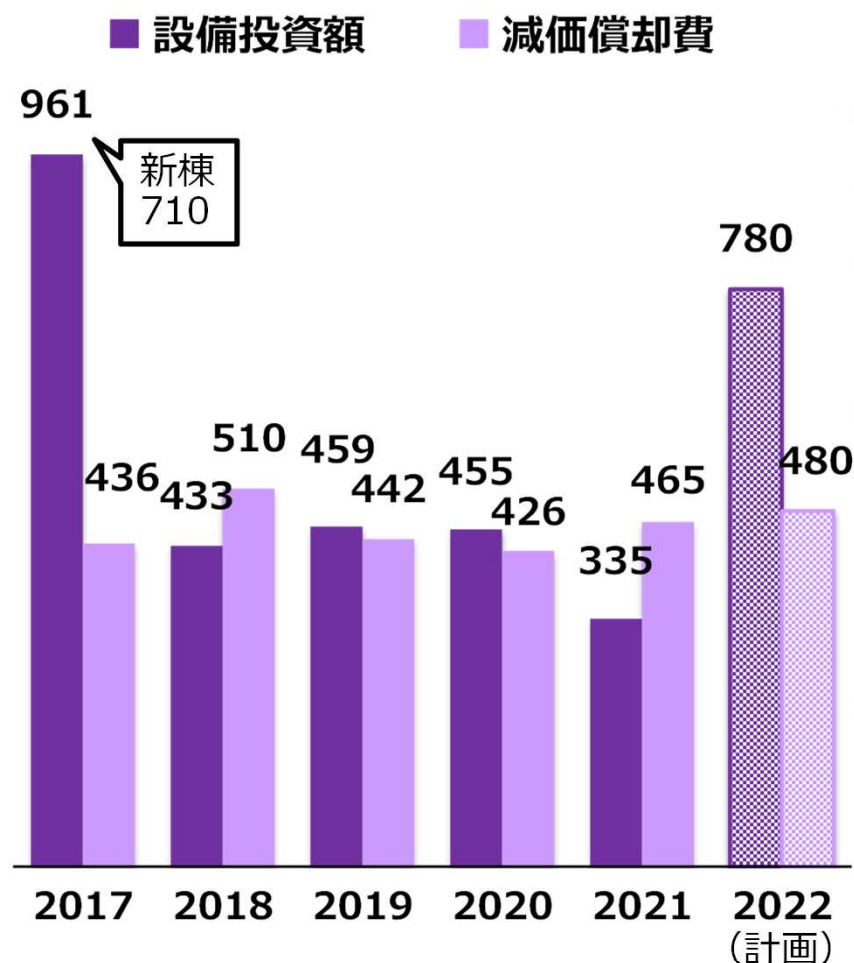


設備投資・減価償却費、研究開発費

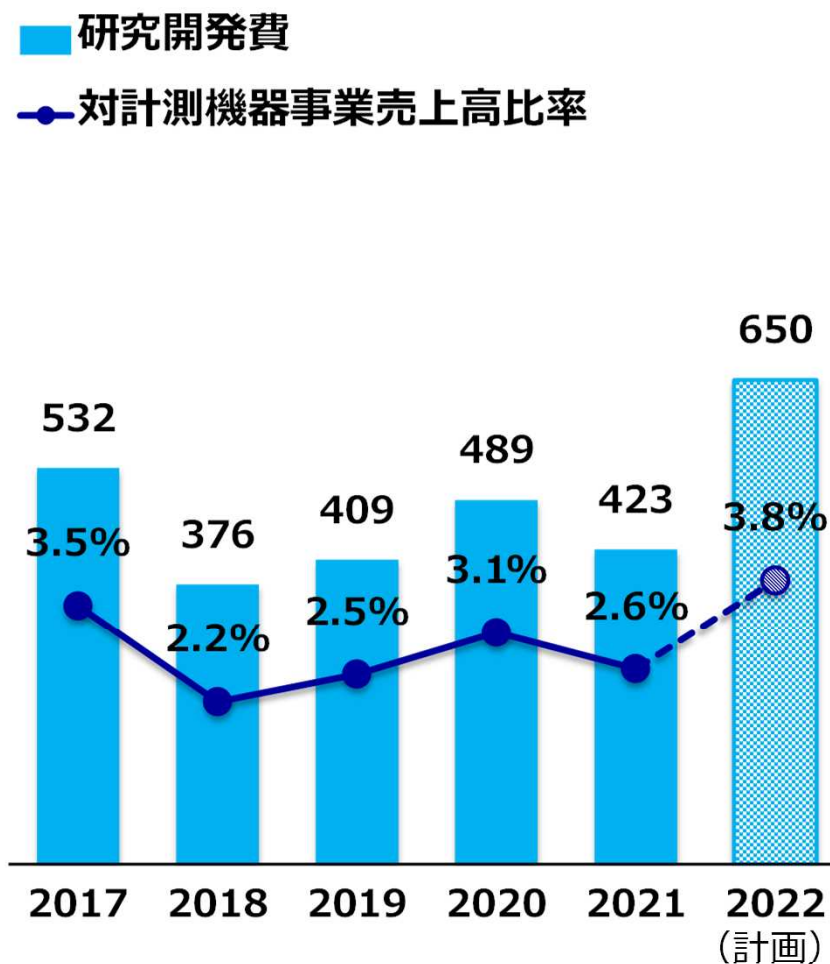


(単位:百万円)

設備投資・減価償却費



研究開発費



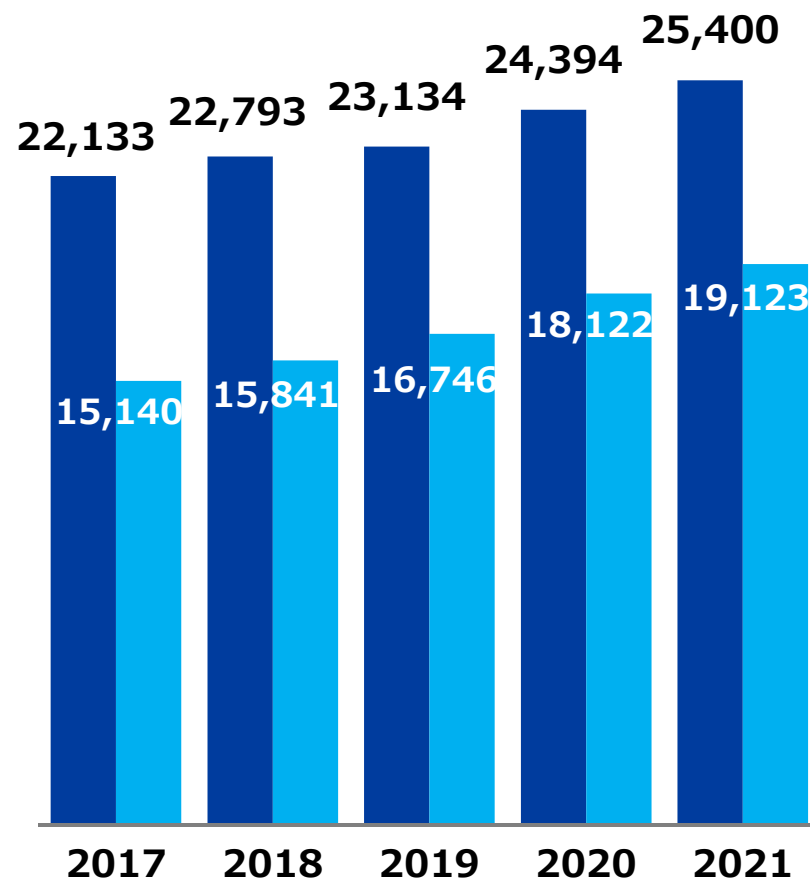
総資産／純資産、当期純利益



(単位:百万円)

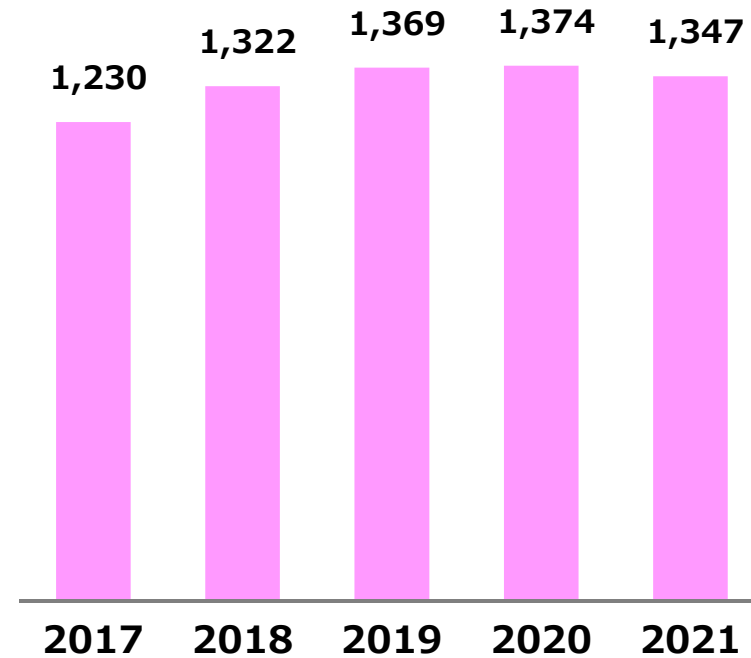
総資産／純資産

■ 総資産 ■ 純資産

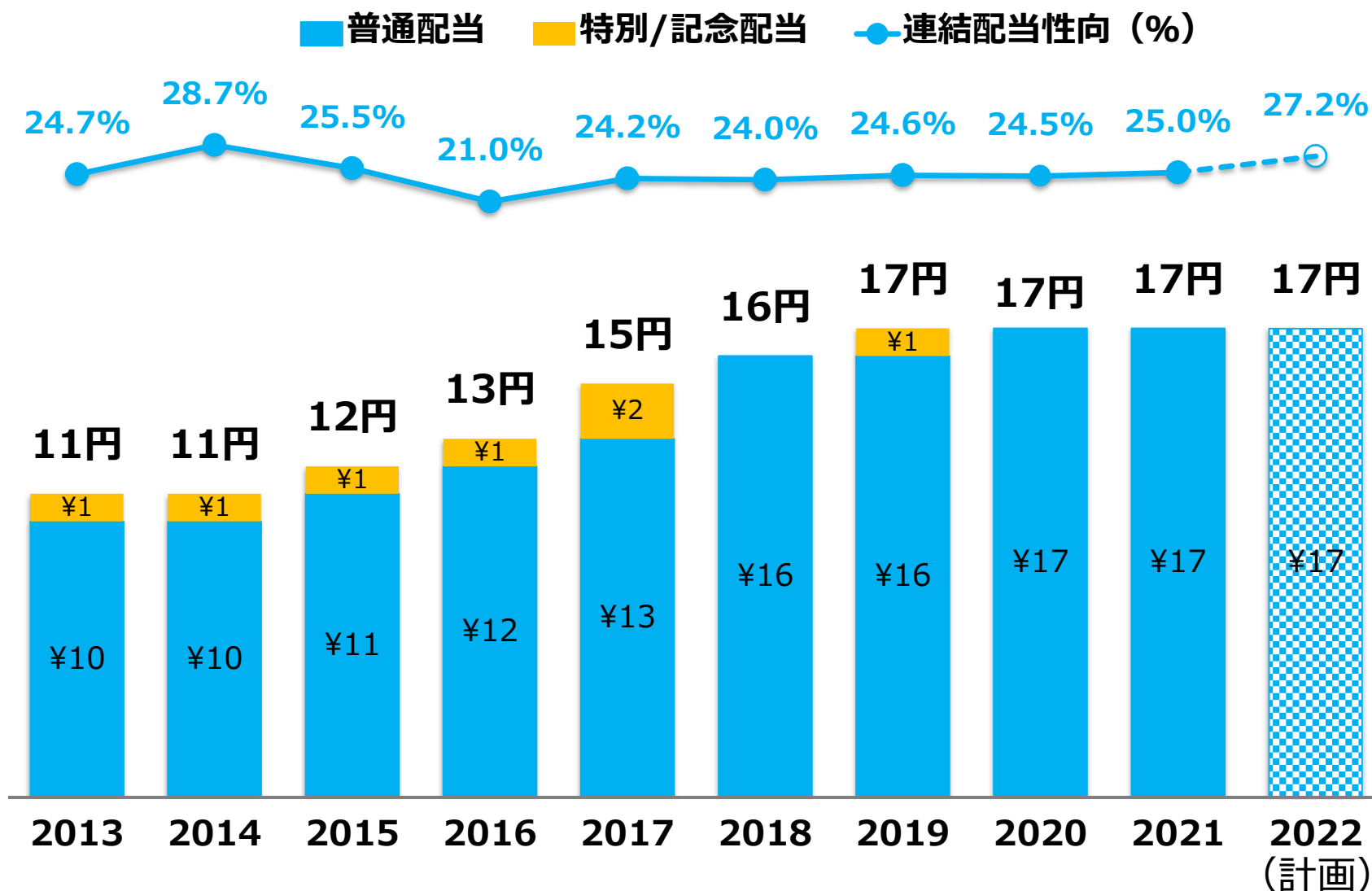


当期純利益

■ 当期純利益



1株当たり配当金推移





日本の技術で中国の環境保護にも貢献

累計販売台数
10,000台突破



全窒素・
全りん計



COD計 ※



重金属計



販売網でも業務提携



HACH社との
共同開発

※Chemical Oxygen Demand（化学的酸素要求量）：水中の被酸化性物質を酸化するために必要とする酸素量で水質の指標の一つ

ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部
メール：ir@toadkk.co.jp